

「まなびの広場」は那須教育事務所ホームページに掲載されます。  
http://www.pref.tochigi.lg.jp/m56/system/desaki/desaki/nasu-kyouiku01.html

毎月第3日曜日は「家庭の日」

## 小学生交流事業

大田原市では、友好親善都市である岡山県井原市と小学生交流事業を行っています。この事業は、「交流・交歓をとおして見聞を広め、協調性に富み広い視野に立って物事を考えることができ、かつ、行動力のある児童の育成」を目的として平成2年から毎年実施され、今年で28回目を迎えました。

今年は8月4日（金）から6日（日）の日程で、井原市の児童20名が大田原市を訪れました。ふれあいの丘での宿泊学習や日光への観光、与一まつりの流し踊りへの参加等とおして、栃木県や大田原市の文化に触れるとともに、市内の小学生との交流を深めました。この夏の日々は子供たちにとって、忘れられない思い出になったのではないのでしょうか。

来年度は、大田原市の児童20名が井原市を訪れることになっています。



歓迎式で「はい、チーズ」



与一踊りに、いざ出陣！

## 第15回なすまち子どもフェスティバル

7月30日（日）に那須町文化センターで15回目となる、なすまち子どもフェスティバルが開催されました。

今回は新しく「子どものまち」コーナーが出来ました。子どものまちには、事前に募集した子ども店長が経営するアクセサリーショップや飲食店、書店等が出店されました。当日を迎えるまで何度も集まり、どんなものを売るのか、いくらで売るのかなどを考えました。当日来場した子どもたちは、各店舗でアルバイトとして働いたり、仮想通貨“なす”を使って自由にものを買ったりして、「子どものまち」を楽しみました。

その他にも、テレビの実況中継や大人向け見学ツアー等のイベント、ステージコーナー、チャレンジコーナー、段ボール迷路やプラネタリウム、昔遊びができるわくわくコーナー等があり、子どもたちの“やってみよう”が詰まった“子どもによる、子どものための、子どものお祭り”となりました。



店員として働く子供たち



JLC、実行委員の皆さん、お疲れ様！

## 新しい友達と思い出をつくってきました

7月24日（月）から7月28日（金）の5日間、青少年健全育成事業「洋上北海道学習」が行われました。この事業に、那須塩原市内の小学6年生78名が参加しました。子供たちは親元を離れ、日常とは違った船内での生活や、北海道の歴史・文化・雄大な自然を肌で感じながら学び、ひと回り成長して帰ってきました。

また、8月3日（木）から4日（金）の2日間、那須塩原市と埼玉県新座市との姉妹都市交流事業「ちびっこふるさと探検隊」が新座市において行われました。那須疏水と野火止用水が縁で始まったこの事業に、両市の小学5・6年生17名ずつ、合計34名が参加しました。子供たちは野火止用水及び平林寺散策、うどんづくりなどを共にしながら親交を深めました。

今後は、それぞれの事業に参加した児童の代表が11月に開催される「なすしおばら まなび博覧会（なすしお博）」で体験発表を行う予定です。



洋上北海道学習（ラフティング体験）



ちびっこふるさと探検隊（平林寺散策）

## とちぎ子どもの未来創造大学

本県では、県内の高等教育機関、民間企業等と連携しながら、小学4年生から中学3年生までの子供たちを対象に「本物」に触れる学習機会を提供する、「とちぎ子どもの未来創造大学」を実施しています。

今年度も県内各地で様々な講座を予定しており、本地区では、8月4日（金）に「ハンドベル体験講座」、8月22日（火）に「日産モノづくりキャラバン」を那須町文化センターで開催しました。県内各地から参加した子供たちは楽しく活動できただけでなく、家庭や学校ではできない貴重な体験をしました。

今後、那須地区管内では、11月11日（土）に宇都宮共和大学那須キャンパス（那須塩原市）で「十二単と鎧を着てみよう」、12月9日（土）に大田原市生涯学習センターで「恐竜教室」を予定しております。興味のある講座は、県内どの会場でも参加できます。詳細・申込み方法は「とちぎ子どもの未来創造大学」ホームページを御覧ください。



ハンドベル体験講座



日産モノづくりキャラバン